V. 技術者養成

1. 技術人材養成事業

1-1 技術研修事業

〔目的〕 新製品の開発や生産技術の向上を図るため、企業の技術者や後継者を受け入れて研修する。

研修内容	研修期間	事業所名	担当者
3D技術を利用した陶磁器製造技術	令和5年4月4日～7月3日	陶磁器製造業	石原 靖世
成形技術（機械ろくろ、圧力鋳込、排泥鋳込）	令和5年4月10日～7月7日	陶磁器製造業	岩永 省吾
インクスケープの習得	令和5年4月12日～12月11日	個人	石原 靖世
石膏型成形技術	令和5年4月18日～令和6年1月17日 令和6年2月13日～3月29日	個人	久田松 学
3D技術を利用した陶磁器製造技術	令和5年4月14日～7月11日	陶磁器製造業	石原 靖世
陶磁器の製造工程全般	令和5年4月19日～5月31日	陶磁器卸売業	吉田 英樹
釉薬の調合技術、成形技術	令和5年4月19日～7月14日 令和5年8月1日～10月31日 令和5年11月8日～令和6年1月31日 令和6年2月6日～3月29日	個人	吉田 英樹 岩永 省吾
抗菌釉薬と耐熱素材を活用した製品の製造技術と再利用等について	令和5年5月22日～6月2日	陶磁器製造業	狩野 伸自
釉薬調合の研修	令和5年5月11日～8月4日	陶磁器生地業	稲尾 恭敬 吉田 英樹
3D技術を利用した陶磁器製造技術	令和5年6月12日～9月11日 令和5年9月25日～12月24日 令和5年12月25日～令和6年3月24日	陶磁器製造業	石原 靖世
陶磁器及びセラミックス等の歴史文化および製造・分析技術など	令和5年8月2日～8月4日	佐世保市立小学校	狩野 伸自
走査型電子顕微鏡ならびにエネルギー分散型X線分析装置の操作方法	令和5年6月27日	素材関連製造業	高松 宏行
3D CAD / CAM	令和5年7月11日～令和6年2月13日	陶磁器石膏型協同組合	中尾 杏理
機械ろくろ	令和5年7月12日～10月6日	陶磁器製造業	岩永 省吾
3D CAD 実習	令和5年7月18日～10月17日	陶磁器石膏型業	中尾 杏理 石原 靖世
走査型電子顕微鏡ならびにエネルギー分散型X線分析装置の操作方法	令和5年8月30日	素材関連製造業	高松 宏行
3D技術を利用した陶磁器製造技術	令和5年9月20日～令和6年3月29日	陶磁器卸売業	石原 靖世

研修内容	研修期間	事業所名	担当者
走査型電子顕微鏡ならびにエネルギー分散型X線分析装置の操作方法	令和5年10月25日	素材関連製造業	高松 宏行
釉薬の調合技術	令和5年11月20日～令和6年2月19日	工業材料製造業	吉田 英樹
3D技術を活用した陶磁器製造技術	令和6年2月2日～3月29日	陶磁器製造業	石原 靖世
走査型電子顕微鏡ならびにエネルギー分散型X線分析装置の操作方法	令和6年1月31日	素材関連製造業	高松 宏行
加飾技術	令和6年3月25日～3月29日	個人	久田松 学 石原 靖世

1-2 セミナー事業

〔目的〕 技術情報、デザイン情報の迅速な提供及び技術革新に対応できる意識改革を図るためセミナー等を実施する。

(1) デザインセミナー

テーマ	「ブランディング経営とその戦略」 －自社の課題と市場の現状を知り ブランド構築による経営戦略で新たな価値を生み出す－		
期 日	第1回：令和6年2月29日 13:00～15:00（現地・オンライン） 第2回：令和6年2月29日 15:00～17:00（現地） 第3回：令和6年3月1日 10:00～12:00（現地）		
タイトル	第1回：「レクチャー：成熟した市場において必要な価値提供とは」 第2回：「ワークショップ①：生産者の課題とその分析」 第3回：「ワークショップ②：ブランディング」		
概 要	<p>graf代表のクリエイティブディレクター・デザイナーである服部滋樹氏を講師に招き、デザインセミナーを開催した。変化する現代の市場の現状を知り、製品のブランディングについてのワークショップを通して経営戦略を学んだ。</p> <p>第1回は「成熟した市場において必要な価値提供とは」と題して、現代の価値観や購買行動についてレクチャーしていただき、成熟市場における戦略を学んだ。</p> <p>第2回はレクチャーの内容を踏まえて、セミナー参加企業が認識している自社の強みや弱み、今後の展望等をグループで話し合うワークショップを行った。講師を中心に外部の視点からの知見を得ることで、自社の現状を分析・把握した。</p> <p>第3回では、第2回のワークショップで整理した各社の現状を踏まえ、仮に想定した製品のブランディングを考えた。ターゲットや開発プロセス、購買行動につながるストーリー、新たに提供する価値などについて考え、グループごとに発表し講師からフィードバックをいただいた。</p>		
講 師	服部 滋樹 氏（graf代表）		
受 講 者	52人(延べ)	担 当 者	戦略・デザイン科 中尾 杏理、桐山 有司、久田松 学、石原 靖世

(2)

テ ー マ	2050年カーボンニュートラルの実現に向けて ー政策動向や支援施策の活用方法などー		
期 日	令和6年3月6日		
概 要	2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）実現に向けてサプライチェーン全体での温室効果ガス排出量の削減要求が高まっており、中小企業であっても長期的な成長に向けては脱炭素化に取り組まないリスクの方が大きくなっている。モノづくりの大きな転換を迎えている今、国・地方自治体・企業が協働して「脱炭素時代」に如何に適応していくか、実例等を交えながら分かり易くご講演いただいた。		
講 師	樋口 一郎 氏（九州経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進・エネルギー広報室 室長補佐）		
受 講 者	25名（オンライン）	担 当 者	環境・機能材料科 秋月 俊彦、高松 宏行

1-3 陶磁器勉強会

〔目的〕 窯業人材の育成と技術力向上を図るため、陶磁器関連企業の後継者や製造現場の技術担当者、商品開発担当者を対象に、陶磁器全般に関する基礎的な勉強会を実施する。

（基礎編）

テーマ名	講 師	概 要	実 施 日	受講者数
陶磁器原料	武内 浩一 山口 英次	①陶土（坏土）の原料と製造方法	令和5年7月14日	16
		②陶土の粒度と検査方法	令和5年7月28日	15
石膏型 成形技術	稲尾 恭敬 岩永 省吾	①石膏の種類と特徴	令和5年8月10日	14
		②各種成形方法の特徴	令和5年8月25日	16
釉薬	吉田 英樹	①釉薬の種類と特徴	令和5年9月8日	13
		②釉薬データベース	令和5年9月22日	15
焼成技術	河野 将明 山口 英次	①焼成炉の種類と特徴	令和5年10月13日	13
		②焼成方法について	令和5年10月27日	11
品質管理技術	吉田 英樹 稲尾 恭敬	①欠点の種類と内容	令和5年11月10日	16
		②欠点の分析方法と防止対策	令和5年11月24日	11

2. 学校等からの研修受入

2-1 所内研修（インターンシップ等）

(1)

実 習 生	大塔小学校教諭
期 日	令和5年8月3日～8月4日
実習内容	陶磁器成形作業・電子顕微鏡観察
担 当 者	研究企画課 狩野 伸自、陶磁器科 吉田 英樹、岩永 省吾、環境・機能材料科 高松 宏行